

## 多施設用

### 研究実施についてのお知らせ

西暦 2019 年 8 月 5 日

#### 【研究課題名】

沖縄離島の喫煙者と過去喫煙者の禁煙に対する心理的変化の質的解析  
～SCATを用いて～

#### 【研究期間】

承認日～令和3年3月31日※解析終了から終了報告書提出までの期間を含む  
(登録期間(介入研究)またはデータ収集期間(観察研究))

#### 【研究対象】

- ①沖縄県立中部病院と沖縄県立離島診療所の外来を受診している高血圧、糖尿病、脂質異常症など動脈硬化性疾患の一次予防を必要とする患者およびすでに心血管病を有する患者  
(冠動脈疾患、脳血管障害の既往、抹消血管疾患、心不全など)
- ②18歳以上75歳未満
- ③過去喫煙者、現喫煙者

#### 【研究目的・意義】

喫煙者と過去喫煙者の『維持期』における心理的段階を言語化し、その段階での最適な禁煙方法を見出す。また、沖縄本島と離島の患者を対象に研究を行い離島ならではの原因がないかを検討する。

#### 【研究方法】

調査対象としては沖縄県立中部病院と沖縄県立離島診療所の外来を受診している人々(18歳～75歳まで)を対象とし、半構造化インタビューを行う。インタビューの所要時間は1回10-15分。数回の受診に分けてインタビューをしていく。内容としては現喫煙者と過去喫煙者に質問を分けて、現喫煙者に対してはタバコを『吸い始めた時』、『習慣化した時』、『禁煙しようと思った時』、『再び吸ってしまった時』、『開き直った時』にどのようなことを思い、感じ、行動したかを聴取する。また、過去喫煙者に対しては『吸い始めた時』、『習慣化した時』、『禁煙しようと思った時』、『禁煙に成功した時』、『再び吸ってしまった時』、『また吸いたくなる時』に同様の内容を聴取する。今回は社会背景の環境要因も何らかの影響をしていると考え、暮らし、家族構成、仕事、趣味なども聴取していく。

**【研究に用いられる試料・情報の種類】**

①基本情報：生年月日、性別、既往歴、現在の内服歴、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、家族構成、仕事内容、趣味、友人関係

②疾患情報：診断名、治療方法

③データ収集の時期と内容

外来受診回数分で以下のデータを収集する

喫煙開始理由、喫煙継続理由、禁煙考慮理由、禁煙開始理由、禁煙成功理由、禁煙失敗理由、喫煙再開理由、禁煙放棄理由、それぞれでとった行動に関する情報

**【外部への試料・情報の提供】**

特になし

**【個人情報の取扱い】**

匿名化の上で外部からアクセスできない Redcap(琉球大学臨床データ管理)を使用し管理する

**【研究組織】**

沖縄県立中部病院、沖縄県立所属診療所

**【本研究に関する問い合わせ先】**

沖縄県立中部病院 診療科名：総合診療科 担当人名：菊池 徹哉

沖縄県うるま市宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）